

形式手法 ー導入推進のためのアプローチー

横川 智教^{†1} 早水 公二^{†2}

概要: 形式手法を用いたシステム開発の効率化・高信頼化を実現するためには、数多くの解決すべき課題が残されている。本セッションでは、産学の連携を通じて、形式手法を開発現場への導入をいかに推進していくかについて議論することを目的とする。本セッションでは、形式的検証や形式仕様記述に加えて、プログラム解析技術の応用や、プロセス代数理論に基づく解析、SAT・SMT ソルバの応用など、幅広い技術開発に関する提案を募集している。また、対象はソフトウェア・ハードウェアシステムには限定せず、組込み・実時間システムへの適用や、セキュリティ問題解決への応用、車載システム・医用システム開発への導入など、幅広い対象への適用事例の報告や応用の枠組みの提案を募集している。導入支援ツールの開発などシステム構築に関する報告も歓迎する。産業界からは現場での適用事例や運用方法・ノウハウなど具体的な活動に関する報告を、学术界からは最新の技術動向や学生への教育実践報告などを期待する。進行中の研究開発に関する途中経過についての報告も歓迎している。

^{†1} 岡山県立大学
Okayama Prefectural University

^{†2} 株式会社フォーマルテック
FormalTech Co., Ltd.